

2012

8

No. 83

Miyakojima City  
Public Relations

広報

みやこじま



### 与那覇湾 ラムサール条約湿地登録

7月6日～7月13日までルーマニアでラムサール条約締約国会議が行われ、そのなかで与那覇湾の湿地登録認定証が市長へ授与されました。

与那覇湾は2011年11月1日、総面積1366㍓が国の鳥獣保護区に指定され、この区域内の水面域699㍓と林野1㍓その他4㍓、計704㍓が特別保護地区に指定され、この特別保護区がラムサール条約に登録されました。

宮古島市ではラムサール条約湿地登録に因んで、8月4日(土)午後1時30分から下地農村環境改善センターで、ラムサール条約湿地「与那覇湾」の保全と利用を考えるシンポジウムが行われます。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。



### 今月の主な内容



宮古島市イメージキャラクター  
「みーや」

- 宮古島長公約状況対策 . . . . . P2
- お知らせ(「現況届」の提出を忘れずに!) . . . . . P14
- お知らせ(日本に在留する外国人のみなさんへ) . . . . . P18
- お知らせ(ゆうたっちょの中学生絵日記) . . . . . P19

# 市長公約進捗状況



下地敏彦市長は、平成21年1月25日付、第2代目の宮古島市長として就任しました。就任後は、政権公約として掲げた8大基本政策の具現化に向け、市民並びに関係者の皆様のご支援、ご協力の下、丁寧スピーディーに取り組んでいるところです。今回は、これまでの取り組み内容と進捗状況を公表します。

なお、進捗状況は、公約目標年度における達成状況を示しております。

(平成24年3月末現在)

個別施策	平成23年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度(進捗状況)
3) ムツウサ等、新規商品への支援強化	大豆の栽培技術確立を行うため、1箇所の実証展示圃を設置し実証試験を行いました。また、パインアップル栽培研究会を立ち上げ現地検討会等を実施しました。(H23: 120千円) 宮古島産かんしょ6次産業化プロジェクトを立ち上げました。	農政課	H21~H23年度(100%)
4) 肉用牛等畜産への支援強化	子牛拠点産地として平成21年7月に県から認定を受け、H23年4月には肉用牛(肥育牛)拠点産地として認定を受けております。またH23年度は、5,526頭(前年度、5,651頭)を出荷し、2,084,782千円(前年度、1,996,996千円)の販売実績がありました。引き続き、地域の特性を生かした産地形成に取り組んで参ります。	畜産課	H21~H24年度(75%)
《林業》			
1) 緑の創出の推進	宮古島市森林整備計画に基づき造林事業を実施しました。 ・森林環境保全直接支援事業(流域の事業名変更による) 77,537千円 ・特定森林造成事業 10,500千円 ・里山エリア再生交付金事業は事業仕分けにより廃止	みどり推進課	H20~H24年度(75%)
2) 防風林及び公園・緑地用樹木の育成	宮古島市花と緑の島づくり計画書に基づき、宮古島市熱帯植物園リニューアル事業を行いました。H23年度: 3,000万円(きめこまかな交付金事業) 花いっぱい・緑をつくる条例推進事業(807,519円) ・申込団体数 87団体 全体数量 95,230鉢 ※メモリアルツリー推進事業は22年度より廃止	みどり推進課	H20~H24年度(75%)
《水産業》			
1) 製氷施設等水産物流通施設の整備と流通システムの構築	※平成22年度において公約目標達成済み。	水産課	H20~H22年度(100%)
2) パヤオの増設	・H20年度において1基設置。 ・H21年度において1基設置。 ・H22年度において1基設置。 公約2基に対し3基設置しており、進捗状況は100%を達成しています。 ※参考: 県整備事業により、H22年8月に表中層型パヤオを1基設置している。	水産課	H20~H23年度(100%)
3) 貝類・藻類養殖事業の推進	※H22年度において公約目標達成済み。	水産課	H20~H22年度(100%)
4) 水産業の振興・種苗供給施設の整備	※H21年度において公約目標達成済み。	水産課	H21年度(100%)
4 観光及びスポーツの振興			
1) 市民と観光客が一緒になって楽しめる新たなイベントの企画	※H22年度において公約目標達成済み。	観光課	H21~H22年度(100%)
2) 海・浜を利用したレジャー及びイベントの充実	海族まつり(2,340千円)、ジェットスキー(200千円)、ビーチバレー宮古大会(1,240千円)の海・浜関連イベントの補助を行いました。(補助金3,780千円)	観光課	H21~H24年度(75%)
3) 児童・生徒・市民の健康促進のための市体育協会の育成強化	宮古島市体育協会に所属する各団体に対し、H21年度より引き続きH23年度も補助金を継続補助しました。(H23年度14,000千円)	市民スポーツ課	H21~H24年度(75%)
4) 環境未来税の新設による観光、健康施設の整備充実	H23年度の早い時期に「庁内検討委員会を開催する。」としましたが、以下の理由により法定外目的税の導入については、当分の間(一括交付金のある期間)検討しません。 ①消費税増税: 政府は、消費税を10%まで増税するという法案を国会へ提出しようとしている。この法案が通れば、国民に多大な負担が掛かる。そういう状況で市民へ新たな法定外目的税の導入は、考えられない。市民からの反発は必至である。 ②一括交付金: 今年度より沖縄の実情に即した事業の的確かつ効率的な実施を図ることを目的とした新たな振興策に沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)が交付される。特に観光の振興に資する事業や環境の保全に資する事業等については、対象事業として柔軟な使途が可能である。宮古の新たな魅力を創出し自然環境を維持・保全した観光振興や雇用創出による地域振興等、宮古観光の持続的発展に資する事業(施策)を一括交付金を活用して展開すべきと考える。	企画調整課	H21~H24年度(30%)

個別施策	平成23年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度(進捗状況)
1 市行財政組織の改革			
1) 分庁方式の見直しを含めた組織機構の効率的運用と改革の早期実施	工事等の入札・契約・検査等を一元的に行う「契約検査課」を新設し、下地庁舎へ設置しました。また、住宅課を廃止するなど組織のスリム化を行いました。	行財政改革班	H21~H24年度(80%)
2) 指揮命令系統の徹底と責任所在の明確化	管理監督者を研修へ派遣しました。また、講師を招聘して研修会を開催し、管理監督者の資質向上に努めました。(・監督者研修派遣: 4名 管理者研修派遣: 2名 ・監督者研修講師招聘: 1名 受講者: 54名)	総務課	H21~H24年度(90%)
3) 信賞必罰の徹底	各種研修へ職員を派遣し、職員の資質向上に努めました。 ・新採用職員研修派遣(15名) ・税務研修派遣(3名) ・給与実務研修派遣(1名) ・政策プランナー養成研修派遣(2名) ・財務研修派遣(3名) 人事評価システムについては未導入。平成24年度以降を検討しております。	総務課	H21~H24年度(85%)
	宮古島市服務規程に沿った「服務規程Q&A」の職員への周知徹底を行いました。		行財政改革班
4) 各種プロジェクトの創出・導入に向けた企画部門の強化	第6回太平洋・島サミット及び関連事業である高校生・太平洋島サミットへの対応の為、太平洋・島サミット準備室を設置しました。	行財政改革班	H21~H24年度(90%)
2 市財政の立て直し			
1) 市職員数の類似市並みにするための計画的縮減の実施	第二次集中改革プラン(H22~26年度)の定員適正化計画に基づき職員の削減を進め、平成23年度は880名に縮減しました。進捗率としては計画通りです。 ※H21年度(946名)、H22年度(908名) H22年度から、勤奨退職促進のため、勤奨退職に関する要綱の見直しを図っています。(H23年度勤奨退職者9名)	行財政改革班	H21~H24年度(80%)
2) 現在実施している全ての事業の総点検と見直しの推進	前期基本計画の検証をもとに、後期基本計画を策定しており、市の現状や課題を的確に把握したうえで、その対応策を後期基本計画に盛り込みました。	企画調整課	H21~H24年度(75%)
	H22年度から第二次集中改革プランをスタートさせ、事務事業の再編、改善等を推進するとともに、市単独補助金等の検証作業を行いました。	行財政改革班	H21~H24年度(80%)
3 農林水産業の振興			
《水産業》			
①土地改良事業の推進(市実施事業)	(H23年度事業) ・ほ場整備(7地区) 23.9ha 559,086千円 ・畑地かんがい整備事業(5地区) 41.2ha 388,828千円	農地整備課	H21~H24年度(52%)
1) ②農村生活環境整備、農地等保全管理事業の推進(市実施事業)	農業農村整備事業(管理計画) 村づくり交付金(4地区) 142,496千円 団体営農地保全整備事業(4地区) 100,000千円 県営農地保全整備事業(2地区) 57,000千円 団体営ため池等整備事業(1地区) 30,000千円 県営水質保全対策事業(1地区) 19,000千円	むらづくり課	H21~H24年度(90%)
2) WTOに対応したサトウキビ生産方式の検討と関税引き下げ対策への取り組みの強化	WTO関連等については、特に取り組みは行われなかったが、政府は新たに原則すべての物品の関税を撤廃する自由貿易協定のTPP交渉への参加を目指し、2011年11月に「交渉参加に向けて、関係国と協議に入る」と宣言しております。TPPに参加した場合農産物等に壊滅的な打撃を与える懸念があるため、JAや県等と連携し「TPP交渉参加阻止宮古地区農業者大会」(H23.12.14)を実施しました。	農政課	H21~H24年度(政府対応を注視)

個別施策		平成 23 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
8)	下地島空港及び残地活用計画の策定	H23年度は、県計画と市計画の農業的利用ゾーンの整合を図るため、県計画を30haから市計画の85haに変更しました。 また、市では下地島農地の有効利用を促進するため「下地島農業基本計画画書」を策定したところであり、H24年度には農業的利用ゾーンの85haを県から買い受けることで協議を進めています。 (予算：3,625千円 下地島農業基本計画策定)	企画調整課	H21～H24年度 (40%)
9)	地域における伝統文化・行事等の継承・保全のための支援	市指定の無形民俗文化財の保存団体(各自治会・14団体)に対し、保存のために必要な経費の一部について補助金交付を行いました。 (14団体×50,000円＝700,000円)	生涯学習振興課	H20～H24年度 (75%)
10)	拝所等の整備促進	市指定の拝所、御嶽の管理自治会に対し、保存のために必要な経費の一部について補助金交付を行いました。 ・「上比屋山」拝所道整備(除草清掃)176,400円 ・市指定文化財補助金(無形民俗以外)1,070,000円	生涯学習振興課	H20～H24年度 (75%)

## 8 施政方針及びマスコミ等で発表した公約政策

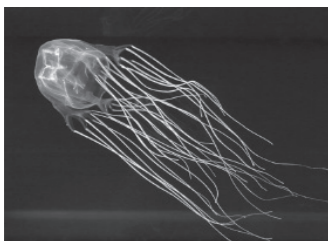
1)	エコアイランド宮古島の推進	環境モデル都市を更に加速させるためH22年度にまとめた「島嶼型低炭素社会システム構築委員会報告」及び、「宮古島市地域新エネルギー・省エネルギービジョン」に基づき、エネルギーの地産地消及び、省エネ意識の促進等を目的とした「島嶼型スマートコミュニティ実証事業」のシステム設計を行いました。(事業費：120,385千円) 宮古島市の住宅・事業所でのエネルギー消費動向について、世帯・建築物等の面から把握するため、消費状況の実測及びアンケート調査を開始しました。 (進捗：事業費6割、工程5割弱) 蒸暑地域に適した省エネ型住宅(エコハウス)の見学と宿泊体験を通じ、市民、島内外の建築関係者等にエコハウスの建築工程及び、性能紹介を行いました。また、毎月1回開催している「暮らし講座」により、エコライフ、エコアイランド宮古島の取り組み紹介などの情報発信を行いました。(事業費：735千円 利用者：1,564名) エコハウス暮らし講座特別版セミナーを開催し、エコハウスの定量的な成果について市民・事業者に報告しました。(参加者：84名) 電気自動車の普及促進を図るため、充電設備を設置する者へ整備費の一部を補助しました。(補助対象：6件 事業費：410千円)	エコアイランド推進課及び全部署	H20～H24年度 (90%)
2)	国民健康保険税率の見直し	※H22年度において公約目標達成済み。	国民健康保険課	H21～H22年度 (100%)
3)	県営公園早期整備への要請活動	圏域の関係機関からなる県営広域公園誘致促進協議会を発足させ、12月に知事への要請活動を行った。また、毎年開催されている県と市町村連絡会議においても県営広域公園を早急に整備し、圏域の活性化を図るよう要請した。	都市計画課	H21～H24年度 (100%)
4)	市陸上競技場の改修	※H22年度において公約目標達成済み。	市民スポーツ課	H21～H22年度 (100%)
5)	高齢者が生き生きと暮らせるための支援強化	敬老の日事業として、敬老祝い金の支給を行いました。(70歳～99歳：9,965名、100歳以上：50名) 宮古島市老人クラブ連合会に対し、老人の孤独死防止を図る為見守り事業及び連合会活動補助金を支給しました。4,968千円(内訳：〇見守り事業：1,800千円 〇連合会活動補助金：3,168千円) 「宮古島市高齢者福祉計画並びに第5期介護保険事業計画」を策定しました。今後(H24年度～H26年度)は本計画に掲げられた事業の推進に努めてまいります。	介護長寿課	H21～H24年度 (75%)
6)	安全・安心な教育環境の充実	放課後の子どもたちの安全に配慮しながら、体験活動や学習活動を指導するとともに、異年齢交流を図る「放課後子ども教室事業」を以下の通り実施しました。 ・子ども教室実施数 11教室(436回)、参加児童数 のべ10,348人、安全管理員・学習アドバイザー のべ1,782人、ボランティア のべ245名 また、上野児童館整備を決定しました。	生涯学習振興課 児童家庭課	H21～H24年度 (75%)
7)	心豊かな生涯学習教育の実現	第7回生涯学習フェスティバルを開催しました。 ・内容：教育功労表彰(3個人)・講演会・活動展・舞台発表・体験実演コーナー・野外ステージ・リサイクルバザー・キッズコーナー・おはなし玉手箱・軽スポーツ・ミニサッカー・セグウェイ試乗コーナー・宮古馬体験乗馬コーナー・加工食品販売・宮古島市体験工芸村・花づくり公開講座 8カ所の市立公民館(中央、城辺、上野、下地、伊良部、下崎、西原、久松)において、それぞれの地域住民のニーズに応じた各種講座(86講座)を開設し、延べ7,372人が受講しました。	生涯学習振興課	H21～H24年度 (75%)

個別施策		平成 23 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
<b>5 医療・福祉の充実</b>				
1)	県立宮古病院の新築促進と市休日夜間救急診療所の併設	H25年5月開院を目指し、県が進める建設スケジュールが円滑に進むよう協力します。 県立宮古病院内に市休日夜間救急診療所を現在建築中です。 H23年度 10,759,000円(工事費・管理費)	企画調整課 健康増進課	H21～H24年度 (58%)
2)	託児所及び保育所等幼児対象施設の整備・支援強化	※H21年度において公約目標達成済み。	児童家庭課	H21年度 (100%)
3)	長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の充実強化の促進・支援強化	健診業務については、H22年度より運営主体が市町村から後期高齢者医療広域連合に移行されたため、自己負担助成については後期高齢者医療広域連合が行っています。 また、H23年度においても、チラシ配布や広報みやこじまへ掲載するなど検診への啓発に力を入れています。(H23年度11月末現在、30.3%、H22年度29%、H21年度24.7%)	国民健康保険課	H21～H24年度 (75%)
<b>6 教育の充実</b>				
1)	小・中学校の統合も含めた地域教育の在り方の検討	【学校教育適正化対策班】 対象12地域において住民説明会を行いました(宮原・城辺・福嶺・来間・狩俣・西辺・池間・佐良浜・島尻・西城・伊良部・砂川)。 また、新潟県上越市・沖縄県名護市への先進地視察を行いました。 【教育施設課】 池間小中学校校舎改築工事(H22線)及び、池間小中学校屋外環境整備工事(H22線)を行いました。 ※池間小・中学校はH23年度より併置校	学校教育適正化対策班 教育施設課	H22～H24年度 (75%)
2)	豊かな心を育む学校教育費の大幅増額の実施	宮古島市小・中学校図書購入費を学校の要望額6,918,224円確保し執行しました。 特別支援事業指導員(10名)に増員したことにより、特別支援教育の充実を図ることが出来ました。(小学校5校・中学校3校9,000,000円) 宮古島市立学校選手派遣事業を行いました。 ・小学校(県内728名、県外25名)計4,340,000円 ・中学校(県内1,262名、県外43名)計11,515,000円	学校教育課	H21～H24年度 (75%)
<b>7 宮古島活性化のためのプロジェクト推進</b>				
1)	天然ガスを活用したコンビナートの建設	H23年度においては沖縄県の事業として天然ガスの賦存量調査が行われたほか、「天然ガス資源有効活用検討委員会」が2回開催され、宮古島市において天然ガスが存在すると見込まれる地層が確認されました。H24年度の天然ガス利用に係る予算については、沖縄県議会のH24年度当初予算に「未利用資源・エネルギー活用促進事業」として、約15億円の予算が要求されていますが、宮古島市での試掘に対する予算額は現時点で未定です。	エコアイランド推進課	H21～H24年度 (35%)
2)	温泉水を利用した保養及びリハビリ施設の誘致	天然ガスに付随する温泉水については、天然ガスの試掘調査と併せて、温泉利用・熱利用によるクアハウス、観光施設、農業用水としての利用など、その有効活用について調査していきます。	エコアイランド推進課	H21～H24年度 (試掘調査結果に基づき対応)
3)	伊良部大橋建設の促進	引き続き関係機関と連携し、要請していきます。	企画調整課	H21～H24年度 (84%)
4)	中小企業への支援促進	宮古島市小口融資制度により、事業を営む小規模事業者に対し、事業活動に必要な資金を融資します。H23年度は5件の申請認可を行いました。	商工物産交流課	H21～H23年度 (100%)
5)	特色あるホテル建設の促進	環境モデル都市の指定を受け、低炭素社会の実現を促進するため、太陽光、天然ガスなどの新エネルギーを活用した宿泊施設の建設について、近々建設が予定されているホテル関係者に再生可能エネルギーの設置を促しております。また、温泉施設敷地内に同温泉が利用できるホテルが建設されました。	企画調整課	H23～H24年度 (30%)
6)	土地改良事業の促進(国・県との事業)	国営宮古伊良部地区土地改良(かんがい排水)事業は、総事業費523億円の内の、H23年度は22億8千9百万円の事業を執行し、H23年度までの執行額は51億1千6百万円です。 H23年度の主な工事は仲原地下ダム292m、用水路5.4Kmが実施されています。	農地整備課	H21～H24年度 (10%)
7)	島全体を対象とした電線地中化の促進	県道高野西里線はH22年度事業完了 県道平良城辺線はH22年度の繰越し事業にて事業完了 国道390号線は事業期間(H21～H25)で、H23はL=500m 152,262千円となっています。	都市計画課	H21～H24年度 (78%)

# 気をつけよう！海のキケン生物

海にはさまざまな生物が生息していますが、なかには毒をもつ生物もいます。沖縄県では、毎年200～400件の海のキケン生物による被害が報告されています。ここでは、代表的な海のキケン生物と、被害を受けた場合の応急処置を紹介します。安全に海を楽しむために、正しい知識と十分な備えをしましょう。

※応急処置の後は、細菌による二次感染を防ぐために、患部を清潔に保ちましょう。



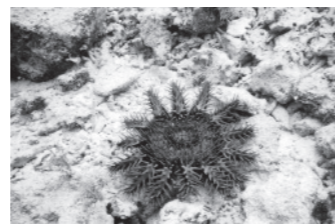
ハブクラゲ

すぐに海から上がり、こすったりせず、酢をたっぷりかけ、付着した触手をそとはがします。痛い場合は氷や冷水で冷やします。  
※酢をかける前にこすったりすると、刺激で未発射の刺胞が発射して被害が大きくなってしまいます。



カツオノエボシ

付着した触手は海水で洗い流し、痛い場合は氷や冷水で冷やします。



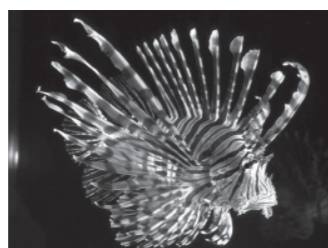
オニヒトデ

目に見える大きなトゲは取り除き、40～45℃程度のお湯につけると痛みが和らぎます。

オニヒトデのトゲはおれやすく、折れたトゲが体内に残っている場合もあるので、医療機関でみてもらいましょう。



オコゼの仲間



ミノカサゴの仲間



ウミヘビの仲間



アンボイナガイ

すぐに海から上がり、安静を保ちながら医療機関へ運んでください。救急車を待つ間などに毒をしばらく出してください。



ヒョウモンダコ

咬まれたら安静を保ちながら医療機関へ運んでください。ヒョウモンダコの毒はフグと同じ成分なので飲み込むと危険ですので、吸い出しははいけません。救急車を待つ間などに毒をしばらく出してください。

資料提供：沖縄県衛生環境研究所

お問い合わせ

宮古島市水難事故防止推進協議会  
☎ 72-3751(内線 151)

沖縄県宮古保健所 ☎ 72-3501

沖縄県衛生環境研究所 ☎ 098-945-0083

個別施策	平成 23 年度における主な取り組み内容	担当課名	目標年度 (進捗状況)
7) 心豊かな生涯学習教育の実現	宮古島市子ども劇団設立検討委員会設立後、要綱・組織体系など必要事項をまとめ、表現力ワークショップ(5回)や大人のワークショップ(3回)を開催しました。オリジナル創作劇の基本的なことについて討議しました。劇団員：56名。 ※ 事業費充当額 1,406,199 円	文化ホール	H23～H24年度 (50%)
8) 新エネルギー資源の活用推進	平良庁舎一階ロビーに、宮古島各地の新エネルギー施設とその取り組みを動画で紹介するモニター及びパネル、島内にある施設の位置を表したジオラマ、学校等に設置された太陽光発電システムを解説した模型等で構成された、市民の次世代エネルギーに対する理解を深めるためのコーナーを設置しました。 ・宮古島市次世代エネルギーパークジオラマ製作業務(事業費：4,656千円) ・太陽光発電の仕組み模型製作業務(事業費：499千円)	エコアイランド推進課	H21～H24年度 (75%)
9) ごみ処理施設の早期建設	環境影響評価準備書を作成し、県に提出しました。	環境施設整備室	H20～H24年度 (70%)
10) 葬斎場の早期新設	※H22年度において公約目標達成済み。		H20～H22年度 (100%)
11) 新図書館移転新築の調査・検討	中央図書館基本計画、建設計画については既に作成を終えておりますが、新たに中央公民館と図書館の併設建設を進める事との見直しが行われた。そのことから早急に中央公民館について、新たに検討委員会を立ち上げ、事業の早期発現へ向け取り組みを強化しているところである。	中央図書館建設準備室	H21～H24年度 (30%)
12) 水道事業の整備促進	宮古島本島より伊良部島へ送水工事、需要水量に対応するための配水管工事を行いました。	上下水道部総務課	H21～H24年度 (41%)
13) 道路・港湾・下水道施設の整備促進	H23年度は、道路建設課管轄で1路線が事業完了間近であり、児童生徒の安全確保のための歩道設置が確保できております。道路整備事業の円滑な推進を図るため、今後も道路整備の計画及び実施に向けて取り組めます。	道路建設課	H21～H24年度 (70%)
	平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル改良事業がH24年度新規採択され(総事業費47億円、整備期間H24～H28)、H24年度は国管轄で1,392百万円が計上されました。事業規模(耐震強化岸壁L220m 港湾施設用22,000㎡)	港湾課	H23～H24年度 (100%)
	H23年度事業認可変更申請において、移転新設する宮古病院、その他新興住宅地の拡大等による区域を追加し、386haから477haの認可区域を拡大しました。(H23年度末の整備面積は、143ha) 事業費実績200,000千円	下水道課	H21～H24年度 (40%)
14) 消防機能の充実	以下の各研修へ職員を派遣しました。 ・初任教育、警防科、火災調査科、救急科、上級幹部科、初級幹部科、水難救助課程、ポンプ操法指導員研修、気管挿管・薬剤投与研修、救急救命士養成課程、薬剤投与追加講習、無線従事者研修。(派遣職員数18名、負担金3,486千円、旅費1,835千円)	消防本部総務課	H21～H24年度 (75%)
	※H21年度において公約目標達成済み。(海難救助を行うための水難救助資機材(ボート)を伊良部出張所に配備。)		H21年度 (100%)
	※H21年度において公約目標達成済み。(消火栓の未整備地域を中心に整備を実施する事により、火災事案に対し迅速な水利確保を達成し、被害の軽減を図るため、平良・下地・上野地区(4カ所)、伊良部地区(8カ所)を整備。)		H21年度 (100%)
15) 市総合庁舎建設	庁舎建設の時期については、当初合併特例債の発行期限であるH27年を目途に事業の着手を考えておりましたが、合併特例債の発行期限が、東日本大震災の発生を踏まえて、被災した合併市町村を対象にH23年8月に5年間延長する法改正がなされております。政府は被災地以外の合併自治体にも認める方向で検討しており、今後の国会で関連法案を提出するとしています。この法案が成立しますと被災地以外でも5年間延長することになり、最大でH32年までの時間的余裕ができますので、国政の流れを注視しながら防災機能面を含め庁舎等建設検討委員会で議論を深め新庁舎建設を検討していきたいと考えております。	企画調整課	H22～H24年度 (30%)

今後、宮古島市は、この推進計画の実現に向け鋭意取り組んでいきます。

推進計画内には、複数年かけて行う事業が多数あります。このような長期の事業を計画通りに実行していくため、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

宮古島市長 下地 敏彦

※ 本推進計画は市ホームページ(<http://city.miyakojima.lg.jp>)でも紹介しています。

お問い合わせは各担当課又は企画調整課まで ☎ 72-3751

【休館日】  
定期休館日(平・城)：6日、13日、20日、27日  
定期休館日(北)：7日、14日、21日、28日  
定期館内整理日：16日(3館とも)

図書館は、宮古島市民のどなたでも無料で利用できます。お気軽にお越し下さい。  
お知らせ

城辺図書館で高学年(4年生～6年生)を対象にサマースクール(読書感想画)を開催します。  
詳しくは、77-8813までご連絡ください。

城辺図書館 (77-8813)

一般書



☆人生で大切なことは雨が教えてくれた  
ドミニク・ローホー / 著  
☆つよくやさしくうつくしく  
99歳女性十段が世界に広めたなでしこの心  
福田敬子 / 著  
☆天国のママから届いた最後の贈り物  
マリー・ロール・ピカ / 著

児童書

☆オリンピックヒーローたちの物語 大野益弘 / 著  
☆ルルとララのしらたまデザート  
ひろかわ さえこ / 絵  
☆モリくんのすいかカー かんべ あやこ / 作



平良図書館 (72-2235)

一般書



☆絵本地獄 白仁成昭 / 著  
☆絵本極楽 西川隆範 / 著  
☆毒婦 北原みのり / 著

児童書

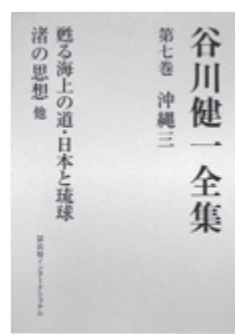
☆むしコレ accototo / 著  
☆うそついちゃったねずみくん なかえよしを / 著  
☆がたんごとん がたんごとん ざぶんざぶん 安西水丸 / 著  
☆うちはお人形の修理屋さん  
ヨナ・ゼルディス・マクドノー / 著



北分館 (72-2317)

宮古・沖縄関係の本や新聞をお探しの方は、北分館をご利用ください。

郷土資料



☆復帰40年 沖縄の検証 狩俣吉正 / 著  
☆谷川健一全集7 沖縄3 谷川健一 / 著  
☆懐かしい未来 沖縄  
野津唯市 / 画・文  
☆原日本・沖縄の民族と芸能史  
三隅治雄 / 著

うまかい!かまかい!

宮古島の話題 [The Topics]



みーさまち、んきゃぎさまち、かいふいーさまち  
第3回宮古島のマンゴーまつり開催

夏の風物詩でもある第3回宮古島のマンゴーまつりが7月8日に宮古島市熱帯植物園で行われました。今年のマンゴーは日照不足等で大幅な減産が見込まれ、まつりの開催が危ぶまれましたが、宮古島のマンゴーを島内外にアピールし、地産地消や観光需要にもつなげようといわれました。会場には多くの市民や観光客が訪れ試食コーナーで振る舞われたマンゴーを味わっていました。



生活リズムの確立をめざして  
「青少年の深夜はいかい防止」  
市民大会開催

夏休みを前に青少年の深夜はいかい防止市民大会が7月13日に北小学校体育館で開かれました。大会では、源河美乃里さん(砂川中3年)と松田風子さん(宮高1年)の2人が意見発表を行い、体験談も交えながら「家族の絆」「地域のつながり」「支え合い」「周囲への感謝の気持ち常に持つこと」など訴えていました。大会後は、街頭パレードが行われ、非行防止と健全育成に対する理解と協力を呼びかけていました。



みなとフェスタ 2012

港の重要性や必要性を知ってもらおうと、「海の日」の7月16日に平良港で「みなとフェスタ2012」が開催されました。会場には大勢の親子連れや観光客らが訪れて、カツオの解体ショーや海藻おしばな教室、ヒトデやナマコなど海の生き物たちと触れ合うタッチプレーなど多彩なイベントが行われ、来場者は楽しい時間を過ごしていました。

